

水辺の森公園で町の活性化！

水辺の森公園からの風景・・・斜面に形成された家々、遠くに見える稲佐山、長崎港に入港してくる客船、夜にはライトアップされる女神大橋。この風景がいまや長崎を代表とする風景のひとつと言ってもいいだろう。そこでこの水辺の森公園を利用した長崎県の抱える問題の解決につながる提案を考えた。

～現状と問題～

・長崎は坂の町である。平地が少なく、都市の発展に伴って周囲の山の上へと市街地が形成されていった。そのためか自転車利用者数は少なく、その代わりにバイク、特に原付バイクの利用者数がとても多い。朝の通勤時のバイクの数には驚かされるものがある。中心市街地である浜の町周辺では、今までは長崎市中央橋付近の広い歩道に駐輪しているバイクがたくさんあった。しかし、駐車違反の取締りが強化され今ではその場所に駐輪しているバイクはほとんどいない。確かに、歩道にバイクを駐輪することは景観上好ましくないし、障害者の人などにとっては転倒などけがの原因にもなりうる。

駐輪場の整備が十分ではない。これが中心市街地の衰退にもつながっているのではないだろうか。

・長崎港につくられたこの水辺の森公園は 2004 年度グッドデザイン賞を受賞したとても美しい公園である。水辺の森公園は、静かな憩いの空間として楽しむだけでなく、賑わいの空間として楽しむことができる公園となっていて、園内には、思い思いの活動を表現することができる場として、広い「芝生広場」をはじめ、野外劇場として、「月の舞台」や「森の劇場」などの多くのステージが用意されている。この公園は、日曜日には家族づれでにぎわい、祭りのときなどは多くの人が集まる。公園の芝生に腰を下ろして海からの風を浴びるのはとても気持ちいいものだ。最近すぐそばに美術館も建設された。

しかし、平日に公園を訪れてみると利用者は少なくとても寂しく感じる。

～提案～

そこで私はこの問題に対し次のような提案をする。

駐輪場問題	大型駐車場・駐輪場を建設し、交通の拠点に
利用者問題	大きなイベントを増やし、三位一体の商業で賑わいを

2. 利用者問題

(2 1)

駐車場の利用者を増やすことで公園利用者の増加をはかったが、さらに公園の利用者を増やすために、イベントをもっと増やすことを考えた。現在でもフリーマーケットやスケッチ大会、県産品フェアなど様々なイベントが行われているが、その頻度が少ないように思う。そこで、毎週日曜は固定して公園内で**大規模のイベント**を行う。

- ・ フリーマーケットに加え、様々な分野の店に出店を依頼する。若者層をつかむ分野として、美容院、服飾関係の店舗、さらには飲食店など。
- ・ ステージ上でバトルを行ってもらう。美容院であればカットバトル、服飾であればコーディネートバトル、ラーメン屋であればラーメンバトルといった風である。技術を見ることで若者は好みの店を選ぶことができるし、店側も知名度を上げることができる。
- ・ 県内でとれた野菜、カステラなどの長崎名物も販売する。
- ・ 夜には若いアーティストによる音楽のライブパフォーマンスを行う。一年に一度くらいは福山雅治にライブを行ってもらうといい。

このようにして、水辺の森公園をいつも賑わった場所にするのだ。そうすれば自然と公園近辺に店舗が増えていき、次第に商業市街地を形成していこう。

(2 2)

そして次の段階として、中心市街地・大型商業施設・水辺の森公園近辺が三位一体となって長崎全体を活性化させることを考える。そこで考えたのが**共通のチケット**だ。

- ・ 1万円で1万1千円分のチケットを購入できるようにする。しかしそのチケットは中心市街地・大型商業施設・水辺の森公園近辺の商業圏内でしか使えない。
- ・ 中心市街地で買い物したときにもらえる割引チケットなどを大型商業施設や水辺の森公園近辺でも使えるようにする
- ・ 水辺の森公園でゴミ拾いのイベントに参加すれば商業圏内なら自由に無料で食事ができるチケットが貰える etc....

このようにすればうまく全体に人が流れるのではないだろうか。日用品を大型商業施設で買い、中心市街地で食事をした後に水辺の森公園で残りの時間を楽しむ家族、などといった形が理想的だ。大きなイベントを行っていても、そのそばで安らげるような空間を残すだけのキャパシティが水辺の森公園にはあるのだ。